

4 段プログラムサーモ ニューセンサーⅡ



取扱説明書

目次

	ページ
安全に関する注意	1
はじめに	3
1. 使用上の注意	4
2. 形式の確認	5
3. 製品の概要	5
4. 各部の名称	5
5. 外形寸法図	6
6. 設置方法	6
7. 機器との接続	6
8. 動作説明	8
9. 自動運転	9
10. 運転停止	11
11. 保守点検	11
12. 仕様	13
13. 保証条件	13

安全に関する注意 必ずお守り下さい

■ 誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を下の表示で区分して説明しています。

 警告	「誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などの重大な結果に結びつく可能性があるもの」
 注意	「誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの」

■ “図記号” の意味は次のとおりです。

 禁止	 分解禁止	 元電源を切る
 濡れ手禁止	 指示を守る	 アース線接続
 水濡れ禁止		

 警告	
<p>次の時は、元電源を切る。(※濡れた手でさわらない)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 10px;"> <div style="width: 45%;"> <p> 濡れ手禁止</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 本体が水で濡れた時は、感電の原因となりますので、すぐに元電源を切ってください。 </div> <div style="width: 45%;"> <p> 元電源を切る</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 感電の原因となることがありますので、点検や掃除をする時、器具を移動する時、地震の時などは元電源を切ってください。 </div> </div>	<p>昇温防止装置、温度ヒューズなどの安全装置を設置する。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 10px;"> <div style="width: 45%;"> <p> 指示を守る</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 本体には温度に関する安全装置は、内蔵しておりません。本器が故障して制御出力がONし続けるなどの異常が発生すると、過熱などの災害が起きる場合があります。そのような危険を避けるために、あらかじめ過昇温防止装置、温度ヒューズなどの安全装置を設置して下さい。 <p>[参考]各国安全基準(電気用品安全法など)では、ヒータなどを含む電気器具において温度調節器の制御接点を強制的にONさせ続けても、安全が確保されることが義務付けられています。</p> </div> </div>
<p>異常時（こげ臭いなど）は運転を停止して、元電源を切るかブレーカーを切る。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 10px;"> <div style="width: 45%;"> <p> 元電源を切る</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 異常のまま運転を続けると火災・故障などの原因になります。「お買上げ販売店」にご相談下さい。 </div> </div>	<p>本体のリード線は引っ張らない。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 10px;"> <div style="width: 45%;"> <p> 禁止</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 線が抜けることや接触不良が起きることで火災・感電の恐れがあります。 ● 線を引っ張ることで、線の芯線の一部が断線して火災の原因になる事があります。 </div> </div>
<p>取扱説明書に明記された以外の分解・修理はしない。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 10px;"> <div style="width: 45%;"> <p> 分解禁止</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 不備があると、火災や感電の原因になります。「お買上げの販売店」にご相談下さい。 </div> </div>	<p>結線は元電源を切って作業する。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 10px;"> <div style="width: 45%;"> <p> 元電源を切る</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 元電源が入っていると感電する恐れがありますので、結線が完了するまでは本体、負荷ともに電源を入れないで下さい。 </div> </div>

⚠警告

本器は、本書記載の指定の出力容量以内（12項P13を参照）で使用する。



- 指定の出力容量を超えて使用すると、火災や感電、故障の原因となります。

指示を守る

本体や圧着端子を取外す場合は元電源を切って作業をする。



- 元電源が入っていると感電する恐れがあります。

元電源を切る

濡れ手でスイッチを操作したり、元電源をON、OFFしたりしない。



- 濡れた手で触ると感電の原因となることがあります。

濡れ手禁止

⚠注意

可燃性のスプレーなどを吹きつけない。



- 火災・変形の原因になることがあります。

禁止

取付け時の注意 必ずお守り下さい

⚠警告

埃や腐食性ガス等の発生する場所、水や油等のかかる場所への取り付けは避ける。



禁止

- 本体を埃や腐食性ガス等の発生する場所、水や油等のかかる場所で使用すると、火災や感電の恐れがあります。

本体を盤内に設置する。



指示を守る

- 盤外に設置すると火災や感電の恐れがあります。

屋外設置はしない。



設置禁止

- 屋外に設置すると雨などがかかり、火災や感電の恐れがあります。

⚠注意

取付け場所（水気のある場所など）によっては、漏電遮断器を取付ける。



漏電遮断器取付け

- 漏電遮断器が取付けられてないと、感電の原因になる事があります。

可燃性ガスの漏れるおそれのある場所には取付けない。



設置禁止

- 万一ガスが漏れて本体の周囲にたまると、爆発の原因になることがあります。

不安定な場所や振動する場所には取付けない。



設置禁止

- 不安定な場所や、振動する場所に設置すると、落下してケガや火災や感電の原因になる事があります。

＝＝＝ はじめに ＝＝＝

この度は、4段プログラムサーモ VQ121形ニューセンサーⅡをお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。

ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使い下さいますようお願い致します。

この取扱説明書は、本製品を実際にお使いになるお客様が、いつでも見ることができるよう、お手元で大切に保管して下さい。

また、お使いになっている製品を、譲渡されたり貸与される時には、新しくお使いになるお客様が、安全で正しい使い方を知るために、本書を製品に付属し、お渡し下さい。

尚、本器の温度表示は、取引証明以外用です。

※本書の内容に関しては、改良その他の理由により、将来予告無しに変更することがあります。お買い上げの製品または本書の内容につきまして、ご不明の点など、お気づきのことがありましたら、お買い上げの販売店または当社各営業所までお問い合わせ下さい。

1. 使用上の注意

1. 1 開梱

- A. センサーコードと本体は一緒に引き出して下さい。センサーコードは本体に固定されていますので、単体で無理に引き出すと断線の原因になります。
- B. 右側面のラベルをみて、電源周波数をご使用になる地域の周波数と一致しているか、確認して下さい。

1. 2 本体部

A. 設置する時は

- ①水を掛けないで下さい。ハウス内等で、水滴の掛かるおそれがある場合は、屋根を付けるなどの対策をして下さい。
- ②次の場所への設置は避けて下さい。
- ・直射日光にさらされた場所
 - ・ほこりや腐食性ガスの発生する場所
 - ・雨水がかかる場所
 - ・消毒液がかかる場所
 - ・衝撃、振動の多い場所
 - ・直接地面の上
- ③周囲温度が（-10～50℃）の範囲内で使用して下さい。
- ④結露、凍結させないで下さい。

B. センサーが、断線または短絡した場合、本器の出力は次の様になります。

異常 原因	出力 状態
センサーが断線した場合	加熱出力(L1-C1間とL2-C2間)がONし続け、制御しない
センサーが短絡した場合	冷却出力(H1-C1間とH2-C2間)がONし続け、制御しない

上記のご現象により、被害が想定される場合は、予め対策を講じて下さい。

尚、ご不明の点は、当社にお問い合わせ下さい。

C. 結線する時は

- ①空き端子を中継端子等として、他の用途に使用してはいけません。
- ②制御出力接点の容量はAC250V、10A（抵抗負荷）です。これを上回る負荷を接続する場合、または開閉頻度の多い場合は、十分な開閉容量を持つ電磁開閉器などを外部に介してご使用下さい。
- ③本体右側面の接続端子部の扉は、配線後必ず閉じて、ビス止めして下さい。
- ④取扱説明書で指定した以外のビスを、緩めたり外してはいけません。

D. 使用する時は

- ①タイマーダイヤルは、必ず時計方向に回して下さい。反時計方向に回すと時計機構が破壊されます。
- ②停電があった場合、タイマーは停止しますので、復電後タイマーの時刻を合わせて下さい。

1. 3 センサー及びセンサーコード

- A. コードは引っ張らないで下さい。また、張力が残らないように設置して下さい。
- B. 作業中、保護管をぶついたり変形させないで下さい。また、毎日の作業で、体や道具が引っかかったりしない場所を選んで、設置して下さい。
- C. 動力線から50cm以上離して下さい。動力線からのノイズで正しく動作しない場合があります。
- D. 水を掛けないで下さい。保護管内に水が入ると正しい温度計測が出来なくなります。保護管のコード差込み部分に特に注意し、水が掛かったらすぐに乾いた布等で拭き取って下さい。
- E. 保護管部に直射日光が当たらないようにして下さい。

1. 4 異常時は

異常を感じた時はすぐに電源を切り、お求めの販売店にご相談下さい。
そのまま使用を続けると災害を招くことがあります。

2. 形式の確認

2.1 パッケージの構成

お買い上げいただいたパッケージには、次の物が含まれています。まず、中身を取り出して確認して下さい。

No.	名称	仕様	数量	備考
①	ニューセンサー本体	VQ121-□	1(台)	
②	温度センサー	TT-3形(灰色ビニールコード)	1(本)	
③	ヒューズ	1A(予備分)	1(個)	(端子部内に収納)
④	取扱説明書		1(冊)	

※温度センサーのコードの長さは、・ニューセンサーII Gの場合、2.5m

・ニューセンサーII Dの場合、4.0m です。

2.2 形式・名称の確認

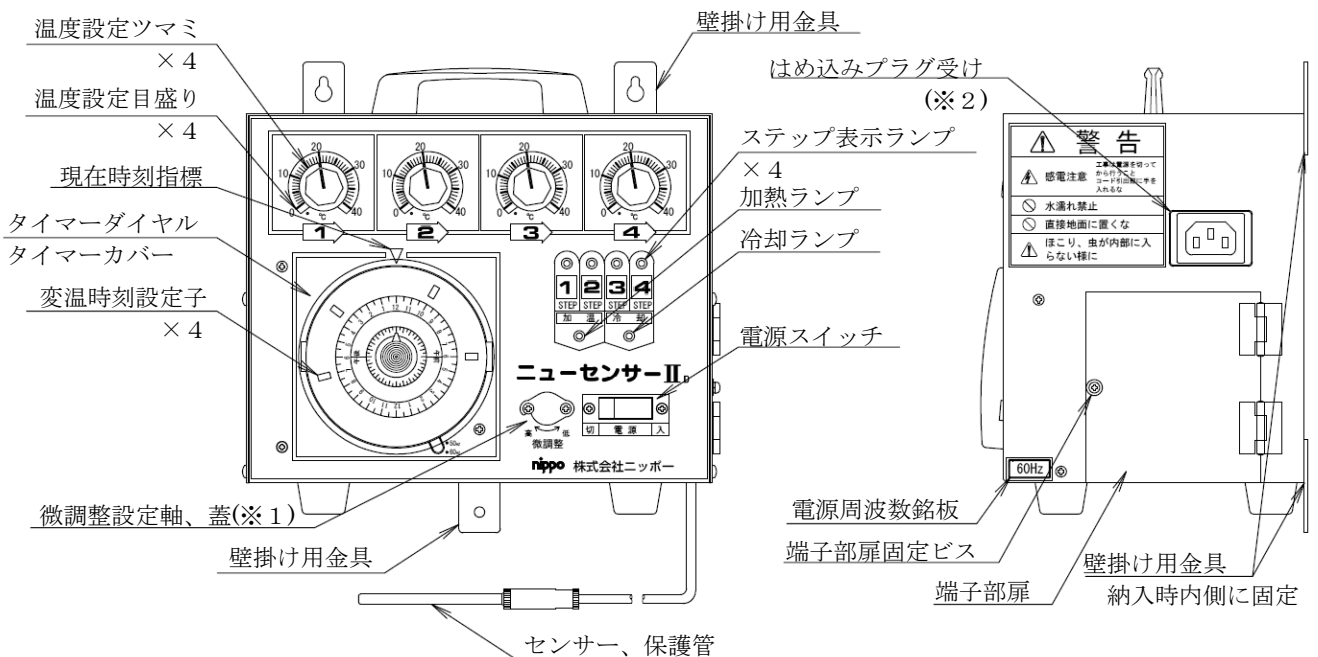
ニューセンサーII形 4段プログラムサーモには、機能により下記の形式があります。次にパッケージの品が、お求めのものと同じかどうか、右の表と正面パネルの名称を照らし合わせて確認して下さい。

項目	形式	説明
A. シリーズ形式	VQ	ニューセンサーII形 4段プログラムサーモ
B. 入出力仕様	121	サーミスタ入力・リレー接点出力・2位置動作式
C. 微調整機能	-6	微調整機能付(通称:ニューセンサーII D)
	-7	微調整機能無し(通称:ニューセンサーII G)

3. 製品の概要

本製品は24時間を4ステップに分割し、各々の時間内における制御対象の温度を、希望する温度に保つように暖房機、または冷房機等を制御します。

4. 各部の名称

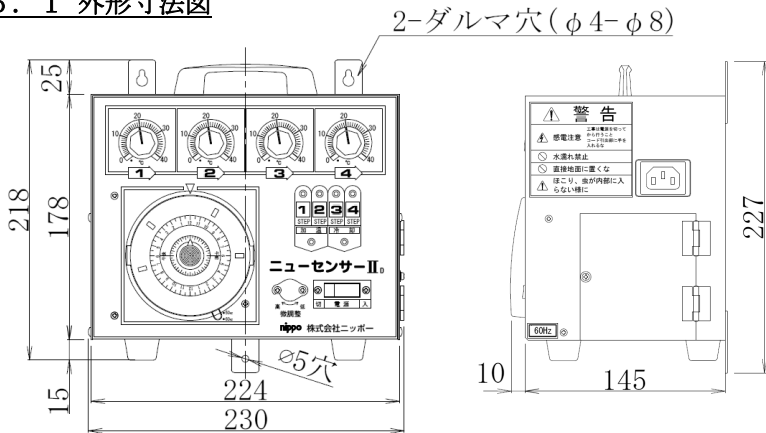


(※1) ニューセンサーII G (VQ121-7形) には、微調整設定軸と蓋がありません。

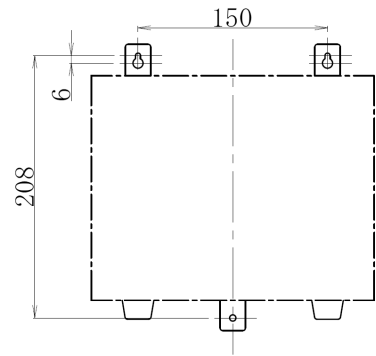
(※2) ニューセンサーII D (VQ121-6形) には、はめ込みプラグ受けがありません。

5. 外形寸法図

5.1 外形寸法図



5.2 取付寸法図



6. 設置方法

作業を始める前に、巻頭の「安全に関する注意」または「使用上の注意」の項を確認し、記載事項を守って作業して下さい。

⚠ 本器の施工は、電気工事士、または認定された資格者が行うこと。

6.1 本体の設置

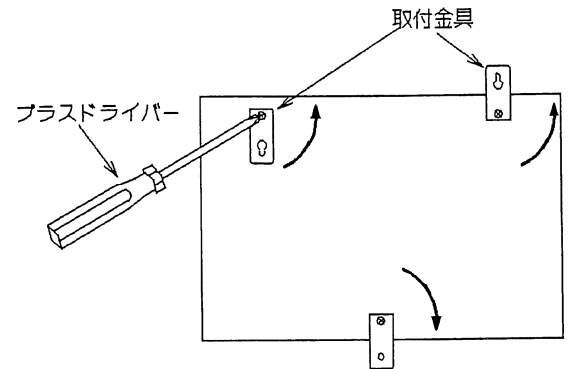
A. 据置きで使用する場合

センサーコードの長さ（40mまたは25m）を考慮して、本体の設置位置を決めます。

※設定つまみを動かしますと、温度が変わりますので、子供の手の届かない所へ、設置して下さい。

B. 壁掛けで使用する場合

壁掛け用金具は、本体背面に取り付けてあります。プラスドライバーでビスを緩め金具を回転させて、図のように締め直します。上部の金具の間隔に取り付けた、釘などに引っ掛け、下部の金具を木ネジ等で締め付けて固定します。



(背面図)

図1

6.2 センサーの配置

A. 温度制御したい場所に吊下げます。

※センサー部は直射日光を避けて下さい。
温度不安定の原因になります。

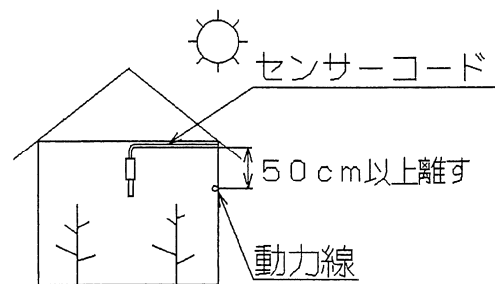


図2

7. 機器との接続

7.1 結線上の注意

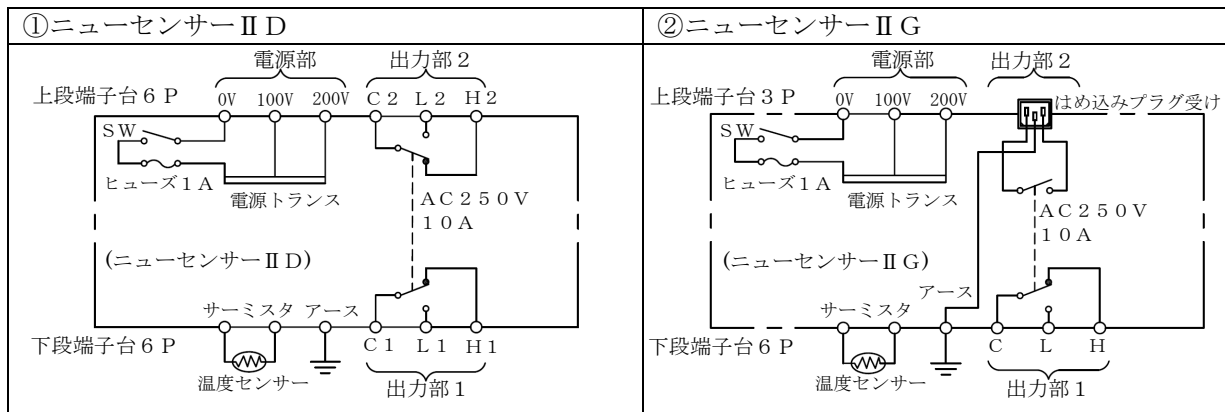
- 作業を始める前に、巻頭の「安全に関する注意」または「使用上の注意」の項を確認し、記載事項を守って作業して下さい。
- 元電源をOFFした状態で、結線して下さい。
- センサーコードは、ノイズや誘導の影響を避けるため、50cm以上電源ライン・負荷ラインから離して配線して下さい。

- D. 制御出力接点の容量はAC250V、10A（抵抗負荷）です。これを上回る負荷を接続する場合、または動作頻度の多い場合は、十分な開閉容量を持つ電磁開閉器などを外部に介してご使用下さい。
- E. 制御出力に接続する電線は、負荷電流を安全に流すことができるものを使用して下さい。
- F. 空き端子を中継端子等として、他の用途に使用しないで下さい。本体が破損します。

7.2 準備

- A. 本体右側面の端子部扉固定ビスを、プラスドライバーで外し扉を開きます。

7.3 端子配列



※上・下段端子台の結線ビスサイズ：M3

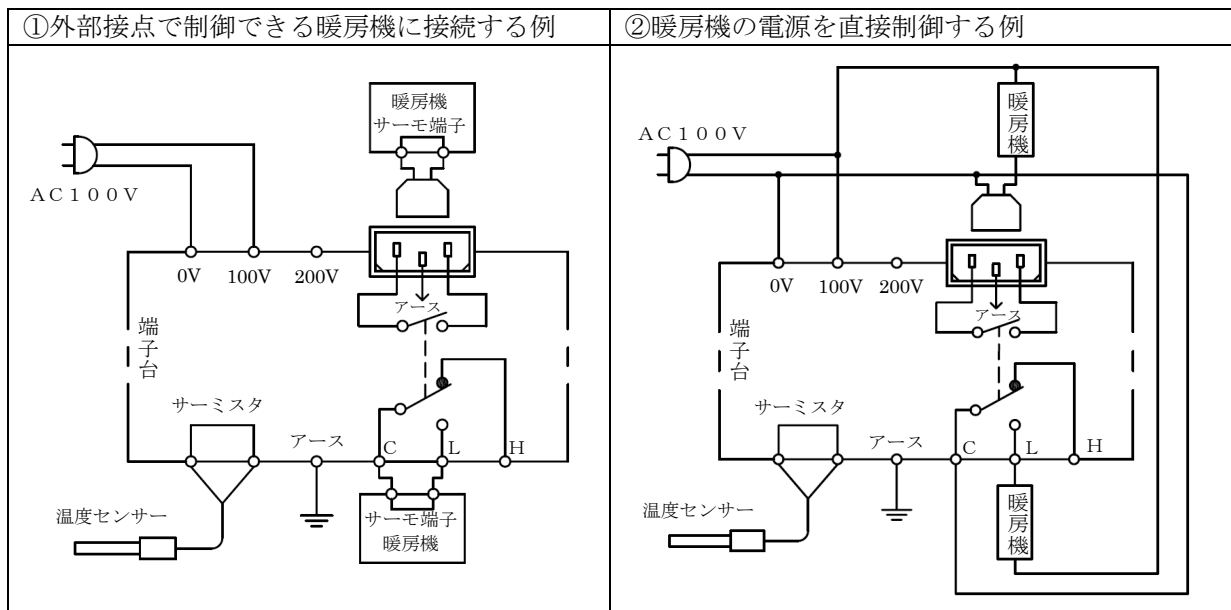
7.4 結線方法

結線には、下記の接続器具または電線を使用します。

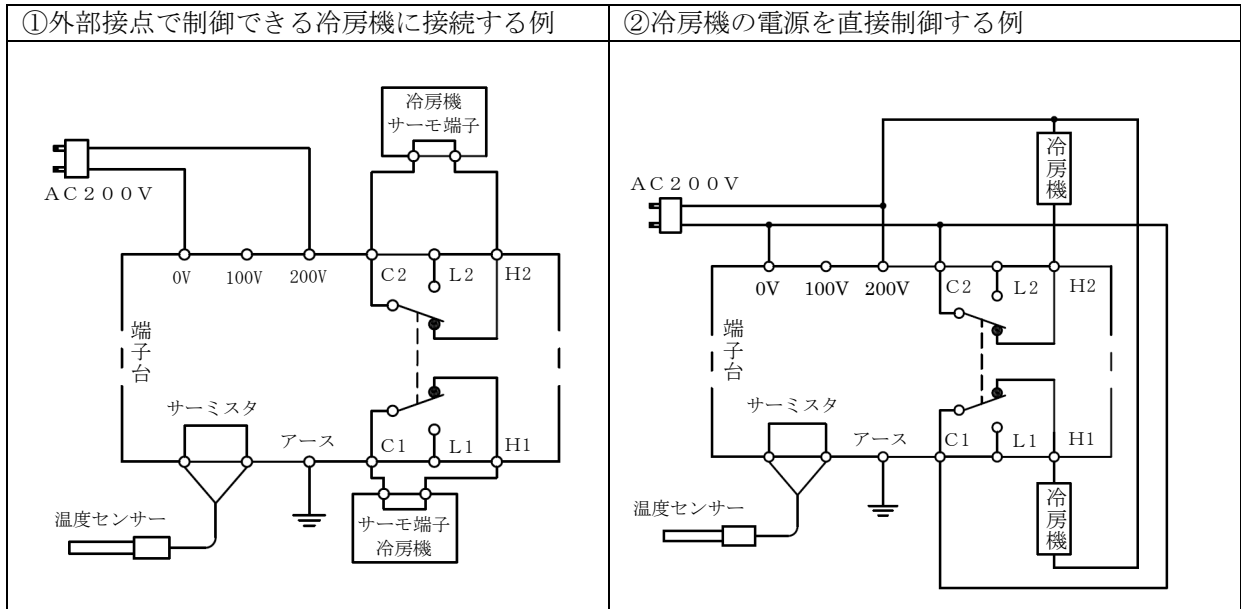
結線箇所	適合接続器具または電線	使用工具	結線要領
端子台 (端子ネジ：M3)	電線：0.75~1.25mm ² ×2本 圧着端子：R1.25-3等	プラスまたは マイナスドライバー 圧着工具	電線に接続した圧着端子を、端子ネジに通し、ドライバーで確実に固定します。
はめ込みプラグ受け (オス形)	IECはめ込みプラグ (メス形) (納入外)		IECはめ込みプラグを差し込みます。

7.5 接続例

- A. AC100V電源を使用し、ニューセンサーII Gに接続する場合



B. AC 200V電源を使用し、ニューセンサーⅡDに接続する場合



⚠ 結線の間違いは機器の故障、もしくは危険な災害を招く原因になります。通電前に、再度結線が正しく行われていることを、必ず確認して下さい。

※本体右側面の接続端子部の扉を、必ずビス止めし、閉じておきます。

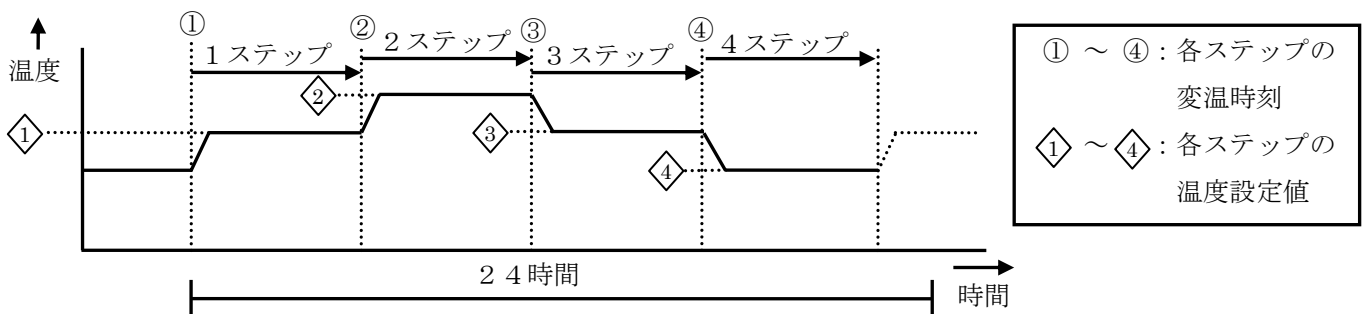
8. 動作説明

1. 制御は、ON/OFFの2位置制御です。ON点からOFF点の間が感度です。
2. 温度設定値は、ON点とOFF点の間です。
3. 出力動作の詳細説明

動作点		低温 ← 温度設定値 (▼) → 高温 ON (---) / OFF (—) 感度 (↔) ON (—) / OFF (---) 感度 (↔)
ニューセンサーⅡDの場合	ニューセンサーⅡGの場合	
冷却出力 H1-C1 端子間	冷却出力 H-C 端子間	
加熱出力 L1-C1 L2-C2 端子間	加熱出力 出力1のL-C 端子間 出力2	

4. 温度設定値は、24時間タイマーによって4ステップにわたり、順次切り替わります。

◎制御例



① ~ ④ : 各ステップの変温時刻
 ◇① ~ ◇④ : 各ステップの温度設定値

5. 動作ランプは加熱動作時 (L-C端子間ON) に、点灯します。

9. 自動運転

9.1 使用上の注意

- A. 作業を始める前に、巻頭の「安全に関する注意」または「使用上の注意」の項を確認し、記載事項を守って作業して下さい。
- B. タイマーダイヤルは、必ず時計方向に回して下さい。反時計方向に回すと時計機構が破壊されます。

9.2 管理内容の決定

- A. 各ステップの温度と開始時刻（以下、変温時刻という）を決めます。

- ① 1日（24時間）を4ステップに設定します。設定は30分単位です。
- ② 1～3ステップで管理したいときは、4ステップ目も3ステップと同じ温度設定にして下さい。

- B. 希望の温度と変温時刻を、右の
ように表にしておく事をお勧め
します。

	ステップ1	ステップ2	ステップ3	ステップ4
時刻	: から	: から	: から	: から
温度	℃	℃	℃	℃

図8 温度管理表（例）

9.3 変温時刻の設定

- A. 初めての方は・・・タイマーの基本操作について

- ① 接続してある被制御機器の電源を切ります。
- ② 本器の元電源および電源スイッチを入れます。
- ③ タイマーカバーを図3の様につかみ、反時計方向に回して外します。
- ④ タイマーダイヤルを図4の様につかみ、時計方向にゆっくり回して見て下さい。

※反時計方向に回してはいけません。

- ⑤ 変温時刻設定子（以下設定子）が現在時刻指標（以下▽指標）に来ると回転が重くなり、過ぎる時ステップが1段進みます。（ステップ表示ランプの点灯位置が移動します。）

- ⑥ 更に回すと、次の設定子が▽指標に来た際、⑤と同様にステップが順次切り替わります。

※自動運転の場合、この時計方向の回転はタイマーモーターが行います。

※設定子と設定子の間をステップ（工程）と呼びます。

※変温時刻を決めるのが、設定子です。

※▽指標位置のダイヤルの目盛りが現在時刻です。

- ⑦ 設定子を抜き差ししてみましょう。

※設定子はスプリングになっています。また方向性がありますので、取り付けまたは、取り外しする時は、指でつまんでスプリング部をダイヤル外側方向にして、穴に沿って取り付けます。



図3 タイマーカバーの外し方

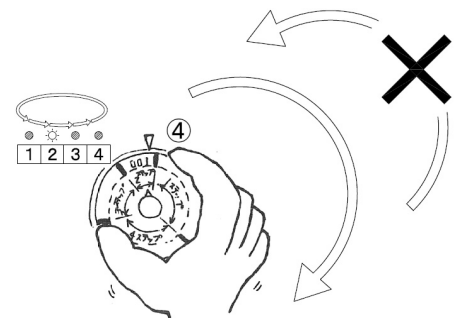


図4 タイマーダイヤルの回し方

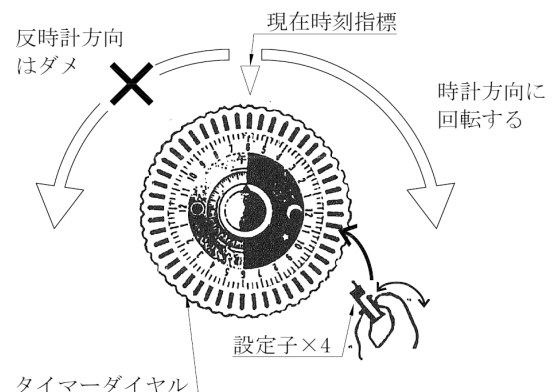


図5

B. 変温時刻の設定方法

- ①接続してある被制御機器の電源を切ります。
- ②本器の電源を入れます。
- ③タイマーカバーを反時計方向に回して、外します。
- ④4本の設定子を、全て抜きます。
- ⑤ステップランプを見て、現在ステップを確認します。
- ⑥温度管理表から現在ステップに位置する任意の時刻を選び、その時刻を▽指標に合わせます。
 ※▽指標を変温時刻とは重ならないようにします。
 ※重なると設定子が差し込めません。
- ⑦4本の設定子を、タイマーダイヤル上の変温時刻の穴に差し込みます。
- ⑧ダイヤルを回し希望の変温時刻にステップが切り替わり、表示にずれが無いか確認します。
- ⑨切り替わらない場合、設定子が正しく取り付けられているか確かめて下さい。
- ⑩希望通りの動作をしない場合、④項から繰り返します。

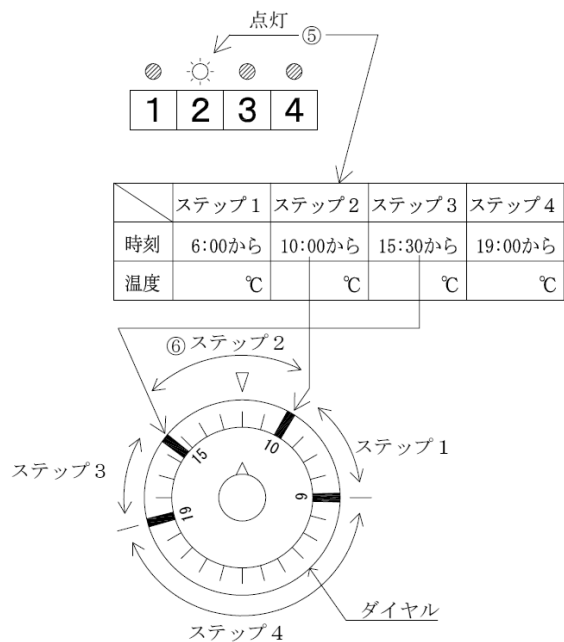


図6 設定例

9. 4 時刻合わせ

- ①タイマーカバーを反時計方向に回して、外します。
- ②ダイヤルを回し現在の時刻の目盛りを▽指標に合わせます。
- ③タイマーカバーを、溝に合せて取り付けます。

9. 5 制御温度の設定

各ステップの制御温度設定つまみを回し、希望の温度につまみを合わせます。

<以上で設定作業は終了です。>

9. 6 自動運転の開始

- ①接続してある被制御機器の電源を入れます。

<これで自動運転に入ります。>

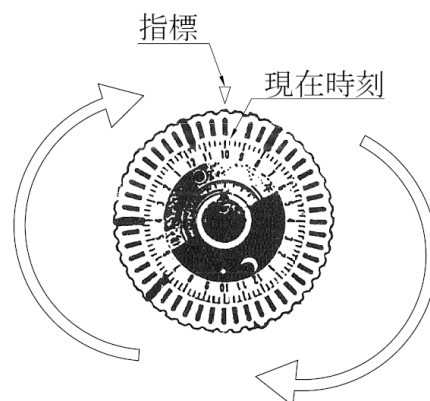


図7 時計合わせ

10. 運転 停止

作業を始める前に、巻頭の「安全に関する注意」または「使用上の注意」の項を確認し、記載事項を守って作業して下さい。

①使用を中止する場合は取り付けてある各機器を停止させ、本器の電源を切ります。

※冷房用出力（（C 1，H 1）（C 2，H 2）端子）は、本器の電源を切ると入りっ放しになりますので、特に注意が必要です。

②長期間使用しない場合は、元電源を切り、配線を外して、高温・湿気・ホコリ等を避けて保管して下さい。

11. 保守 点検

11.1 設定温度の微調整（ニューセンサーⅡD、VQ121-6）

ニューセンサーⅡDは、全ステップを一括で同じ幅に設定温度を微調整することができます。

微調整の必要がある場合、次の要領で行います。

①微調整穴の蓋をずらし、穴を開放します。小形のプラスドライバーで、微調整穴の蓋を固定しているビスを緩めれば、蓋が外れます。

②小形のマイナスドライバーで、内部の設定軸を回し、調整します。

※右に回せば温度が高く、左に回せば温度が低くなります。

※微調整幅は、±2℃です。

※設定軸は、強く押し込まないで下さい。

③制御結果を確認します。制御対象物の温度を測定して下さい。

※制御結果が安定する迄、時間的に遅れることがありますので、ご注意ください。

④制御結果が良ければ、微調穴の蓋を取り付けます。

11.2 現在時刻の確認

時刻にずれが無いのか、時々時報などで確認して下さい。

11.3 雷の影響

雷が発生した場合、正常に動作しているか、念のため確認して下さい。

11.4 温度設定器の保守について

温度設定ツマミを半年に1度、端から端まで2～3回動かして下さい。同じ位置で長期間、固定して使用すると、設定器の接点が錆びて正常な動作が出来なくなることがあります。

11.5 ヒューズの点検

ヒューズ切れかどうか点検したい場合、まず元電源を切ります。次に本体右側面の端子部扉を開け、ヒューズホルダーの蓋を反時計方向に回して外し、ヒューズ素子を取り出します。ヒューズの定格は1Aです。点検交換後は元に戻し、扉をビスで止めます。

11.6 異常現象に対する対策例

異常現象	主な原因	対策例
<ul style="list-style-type: none"> ・いずれのランプも点灯しない ・冷却出力がONしたままで、制御しない 	<ul style="list-style-type: none"> ・電源がきていない ・ヒューズ切れ 	<ul style="list-style-type: none"> ・元電源および電源スイッチを入れる ・ヒューズ点検交換
<ul style="list-style-type: none"> ・加熱出力がONしたままで、制御しない ・加熱ランプは点灯したまま 	<ul style="list-style-type: none"> ・温度センサーのコードが断線している ・温度が0℃以下 	<ul style="list-style-type: none"> ・センサーの交換・修理を要す ・センサー温度を常温（約25℃）に戻し、正常に復帰することを確認する
<ul style="list-style-type: none"> ・冷却出力がONしたままで、制御しない ・冷却ランプは点灯したまま 	<ul style="list-style-type: none"> ・温度が40℃以上 ・温度センサーのコードが短絡している 	<ul style="list-style-type: none"> ・正常に復帰しない場合、修理を要す ・センサーの交換・修理を要す
<ul style="list-style-type: none"> ・指定の時刻に設定温度が切り替わらない 	<ul style="list-style-type: none"> ・停電があった ・電源を切った ・電源周波数が異なる 	<ul style="list-style-type: none"> ・時計合わせをする

※加熱出力とは（C1-L1）（C2-L2）端子間出力、冷却出力とは（C1-H1）（C2-H2）端子間出力をいいます。

1 2 . 仕 様

1 2 . 1 ニューセンサーII本体

項目	内容	項目	内容
温度制御方式	2位置(ON-OFF)式	制御温度切替方式	24時間4段切替式
制御温度設定範囲	0~40℃(最小目盛り1℃)	最小設定時間間隔	30分
設定精度	±0.8℃以内	タイマー精度	電源周波数に準ずる
調節感度	±0.5℃(ニューセンサーII G) 高感度(ニューセンサーII D)	微調整幅	±2℃(ニューセンサーII Dのみ)
		制御出力	リレー接点
電源	AC100V/200V 50または60Hz(周波数は指定)	制御容量	AC250V 10A(抵抗負荷) " 5A(モーター負荷、力率0.4)
消費電力	6VA以下	電源電圧許容範囲	定格の±15%以内
使用許容周囲温度	-10~50℃	使用許容周囲湿度	30~90%RH
保存許容周囲温度	-20~60℃	保存許容周囲湿度	(但し結露なきこと)

1 2 . 2 TT-3形 温度センサー

項目	内容	項目	内容
感熱素子	サーミスタ No. 27	精度	±1℃以内
保護管形状	TT-3形、φ5×70mm	リード線	灰色ビニールコード
保護管材質	BS(Niメッキ)	使用温度範囲	-10~80℃

※温度センサーのコードの長さは、
 ・ニューセンサーII Gの場合、25m
 ・ニューセンサーII Dの場合、40m です。

1 3 . 保証条件

納入品の保証条件につきましては、見積書、契約書、カタログ、仕様書等に別段の定めのない場合、次の通りとさせていただきます。

1 3 . 1 保証期間

納入品の保証期間は、ご注文主のご指定場所に納入後1年と致します。

1 3 . 2 保証範囲

上記期間中に納入者側の責により故障を生じた場合は、その機器の故障部分の交換、または修理を納入者側の責任において行います。

但し、次に該当する場合は、この保証の対象範囲から除外させていただきます。

- (1) 需要者側の不適当な取扱い、ならびに使用による場合。
- (2) 故障の原因が納入品以外の事由による場合。
- (3) 納入者以外の改造、または修理による場合。
- (4) その他の天災、災害などで納入者側の責にあらざる場合。

尚、ここでいう保証は、納入品単体の保証を意味するもので、納入品の故障により誘発される損害はご容赦頂きます。

第2出力接続用付属コードをご使用の前に

1. 使用上の注意

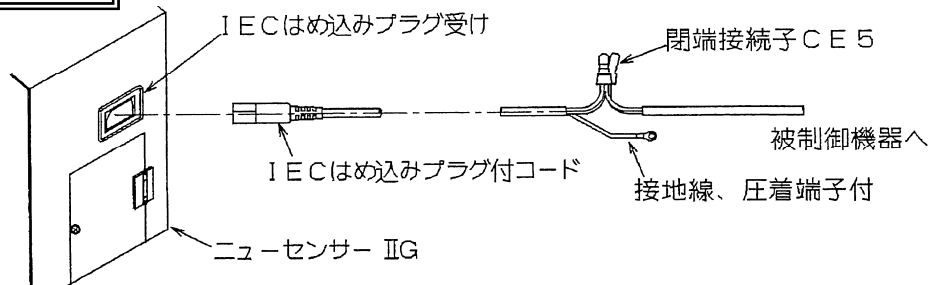
1. 電線の接続は、電気工事士、または認定された資格者が行うこと。
2. 元電源をOFFした状態で、結線すること。
3. 制御出力に接続する電線は、負荷電流を安全に流すことができるものを、使用して下さい。
4. 制御出力接点の容量はAC250V、10A（抵抗負荷）です。これを上回る負荷を接続する場合、または動作頻度の多い場合は、十分な開閉容量を持つ電磁開閉器などを外部に介してご使用下さい。
5. 閉端接続子の圧着に当たっては、適合した工具を使用して下さい。
適合工具の例：YS-1210（日本圧着端子製造㈱）

2. パーツリスト

No.	名称	仕様	数量	備考
①	IECはめ込みプラグ付コード	1.25mm ² 、長さ3m、接地線付	1(本)	
②	閉端接続子	CE5（電線抱合容量：2.5～6.0mm ² ）	2(個)	

※コード①の接地側電線には、あらかじめ丸型圧着端子（R1.25-4）が、接続済みです。

3. 接続の概要



結線の間違いは機器の故障、もしくは危険な災害を招く原因にもなります。通電前に、再度結線が正しく行われていることを、必ず確認して下さい。

お問い合わせは下記へ

TEL0120-963-166

携帯電話・PHS・IP 電話からはこちらから

TEL048-255-0066

nippo 株式会社ニッポー

ホームページ <http://www.nippo-co.com/>

e-mail info@nippo-co.com

本社営業部	TEL:048-255-0066 FAX:048-253-2793	〒332-0015	川口市川口 2-13-20
中部営業所	TEL:0533-56-8407 FAX:0533-56-8408	〒442-0068	豊川市諏訪 2-425 パークビル3階 D号室
大阪営業所	TEL:06-6375-2201 FAX:06-6375-2205	〒530-0014	大阪市北区鶴野町4 ユーブ 野村梅田 A-223
島根営業所	TEL:0854-52-2478 FAX:0854-52-1142	〒699-1822	島根県仁多郡奥出雲町下横田 750-1
本社	TEL:048-253-2788 FAX:048-253-2793	〒332-0015	川口市川口 2-13-20
島根工場	TEL:0854-52-0066 FAX:0854-52-1142	〒699-1822	島根県仁多郡奥出雲町下横田 750-1

※住所・電話番号などは、変更になることがあります。あらかじめご了承下さい。